



坂の上だより

No. 4

令和3年6月1日

電話 0267-22-0224

FAX 0267-24-1420

「人それぞれに花あり」

「明日も登校したくなる大好きな坂の上小学校」

☆子どもたちの『声』

校長室にいますと、廊下を歩く子どもたちの様々な声が聞こえてきます。

- ・「今日、遊べる?」「うん」「じゃあ、〇〇に集合ね」
- ・「ねえ、宿題、多くない?」「ちょっと大変だよ」
- ・「(校長室前の植物を見て) オリヅルランだ。これ、家にもあるよ」
- ・「かけっこ、疲れた」「おなか減ったな」「今日の給食なんだっけ?」



子どもたちが話している内容から子どもたちの心身の健康状態がわかるとは言い切れませんが、子どもたちの会話に、「今日もみんな元気だな。」と安心することが多いこの頃です。

私は、学校のことを親に話す小学生ではなかったです。どうしてでしょうね。親もいろいろ聞かない親でした。私と同じようなお子様でしたら、「最近、学校はどうかかな?」と、それでもさりげなく聞いてみてください。

☆『いい子』から『いい個』へ



あいさつできる子、返事ができる子、お掃除に一生懸命取り組む子…、どの子も『いい子』です。私たち教師のことで言うと、『いい子』を育てようと躍起になると、どうしても自分の価値観に子どもたちをあてはめようとして、結果的に子どもたちらしさを押さえつけてしまうということがあります。一人一人の子どもたちは、基本的に皆違います。形も大きさも全く同

じ葉っぱはありません。同様に、性格も価値観も全く同じ子どもはいないと思います。『いい個』は、まさに『その子らしさ』だと思います。『その子らしさ』を理解し、伸ばすことができる教師でありたいし、うちの子の『らしさ』を見つめられそれを認め伸ばせる親でありたいと思います。

※裏面へ